

(共同リリース)

2025年12月1日
北海道仁木町
日本航空株式会社

北海道仁木町とJAL、オーベルジュ事業に関する連携協定を締結

～「フルーツとワインのまち」の魅力を核に、観光振興と関係人口の創出に取り組めます～



仁木町(所在地:北海道余市郡仁木町、町長:佐藤聖一郎)と日本航空株式会社(本社:東京都品川区、社長:鳥取三津子、以下「JAL」)は、オーベルジュ^(※1)事業に関わる取り組みについて連携し協力するため、11月25日に連携協定を締結しました。

仁木町とJALはこれまで、札幌＝徳島線を活用した徳島県吉野川市との小学生交流企画や、仁木町産ワイン・農産物に触れるワイナリーツーリズムの企画・販売、JALスカイ札幌社員による仁木町産さくらんぼの収穫支援など、さまざまな協業に取り組んでまいりました。

今回の協定では、オーベルジュ事業を軸に、地元食材を活かした料理と多彩な地域体験を組み合わせることで、滞在自体を目的とした観光の促進を目指します。北海道では観光と宿泊が異なるエリアで完結しがちですが、本事業が提供する地域に根ざした高品質な宿泊体験は、「泊まる」こと自体の魅力を高め、滞在期間の延長や新たな交流を促すことで地域経済の活性化にもつながる新しい観光の形を創出します。

「フルーツとワインのまち仁木」の価値をさらに磨き上げる仁木町と、「多くの人々やさまざまな物が自由に行き交う、心はずむ社会・未来の実現」を目指すJALは、持続可能な観光振興と関係人口の拡大に向け、力を合わせて取り組んでまいります。

(※1)その土地の旬の素材を活かした本格的な料理が楽しめる、フランス発祥の宿泊設備を備えたレストランです。

記

1. 目的

仁木町とJALが相互の連携を強化しながら、それぞれが持つ物的・人的・知的資源を有効に活用し、地域全体の活性化を図ることを目的とします。

2. 連携・協力事項

- (1)オーベルジュ事業を通じた観光振興および関係人口の創出・拡大
- (2)その他、仁木町とJALの協議により必要と認められること

以上